



「ロールオンねじキャップ」*のご提案

*ねじ無し状態でキャップを壺口にかぶせて、PPシーマーでねじ切り加工を行う。最初からねじ加工をしてある物に比べて開栓トルクの安定が図れる。

安全！



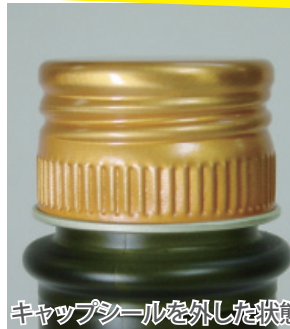
「ロールオンねじ」(左)と「PPキャップ」(右)

- 開封後、PPキャップの様なカットエッジやリングがないので安全！
- 開け閉めの回数が多い商品や、より安全に敏感な、「輸出用商品」にも最適です。

デザイン性！



最終製品の状態



キャップシールを外した状態

- PPキャップにない「風合い」「高級感」が演出できます。

(ご注意)

*30スタンダードPPキャッパーのスカートローラーを逃がしてキャッピングします。

*ご採用にあたっては、壺、充填条件、キャッピング条件などに関して、事前に必ず営業担当者にご相談下さい。

*ライン適性やキャッパー適性の確認、キャップシールをした状態で保管して密封度や開栓トルクを確認して下さい。キャッピングヘッドによっては、調整やプレッシャブロックの変更が必要な場合があります。またキャップシールによっては、密封性が損なわれる場合があります。

*内容物とのフレーバー適性については、事前にご確認下さい。



①「胴部ナール・タイプ」が標準（注：ナール＝側面のギザギザ） *この「金色無地」仕様で、ケース単位出荷可能な、汎用品を準備しています。②参考品：上部ナール・タイプ ③ねじきり後の状態

(ご参考) デザイン的にマッチしやすい壺口の事例



ビード・ネック

バルジ・ネック

ビードやバルジのない30STD口規格にも適合しますが、この二つの壺口タイプには特にマッチします。(キャップシールとの適合性もご確認下さい。)

お問い合わせ先：きた産業株式会社
大阪営業部：06-6731-0251 東京営業部：03-3851-5191

